

定例観察会実施報告書

2025 年 10 月 18 日

実施日 2025 年 10 月 11 日（土）
テーマ 裏六甲の植生を楽しむ
コース 神鉄有馬温泉駅～落葉山西峰～北西峰～落葉山山頂～妙見寺～神鉄有馬温泉駅
集合 神鉄有馬温泉駅 9：30
解散 神鉄有馬温泉駅 15：00
参加者 ビジター34 名 会員 25 名（内 2 班 17 名）

今回の観察コースは昨年 7 月に実施予定でしたが、自主研は熱中症警戒アラート発令のため、定観は雨のため中止になりました。また、今年は自主研が雨のため中止になり 4 回目にしてようやく実施することができました。



落葉山とは

有馬の三恩人の一人、仁西上人が蜘蛛に導かれ有馬温泉にやってきました。水害で埋まった温泉の場所を見つけるためにこの山に登り、ここから投げた「榎（なぎ）」の葉が落ちた場所が現在の金の湯と言われています。その古事に因んで落葉山と呼ばれるようになりました。

受付場所のすぐ脇にある落葉山への登山道の入り口は、「え？こんなところから登るの？」と初めての方は驚かれるような狭さです。

登山道に入ってすぐに、ヨメナ、ヨシノアザミ、ヒヨドリバナの花が出迎えてくれ、その先 50～60m には多種類の幼木が出迎えてくれ葉の観察には最高の場所です。

ウリカエデ、タカノツメ、ノダフジ、ヒサカキ、クロモジ、ヤマウルシ、ケヤキ、ウワミズザクラ、ウラジロノキ等々。アワブキの大木の下をくぐり進んでいくとコアジサイとコガクウツギの自然交配種であるアマギコアジサイがあります。それぞれの葉を見比べながら違いを確認。

その先、足元の悪い上り坂途中にウリハダカエデの大木が2本あります。さらに、ケヤマハンノキ、アカシデなどもあります。



左：アマギコアジサイ 右：コアジサイ



ウリハダカエデ

この時期の楽しみは、いろいろな実に出会えることでしょうか。見落としてしまいそうな場所にひっそりとトリガタハンショウヅルの実があります。さらに進んで行くと、ナンキンナナカマド、ミヤマガマズミ、ソヨゴ、タムシバ、ナツハゼ等の実が観察できました。ナツハゼの実はもう少しすれば美味しくなるのでしょう。



トリガタハンショウヅル



ミヤマガマズミ



これらの実を観察していた足元にシコクママコナが咲いていました。名前の由来は、花冠の白色の隆起あるいは若い種子が飯粒に似ているからとか。半寄生植物。

シコクママコナの写真を撮るためしゃがんでいて立ち上がった目の前にイソノキの幼木がありました。



シコクママコナ

そこからの下り坂の途中に花は終わっていましたが、オオヒキヨモギ、ミヤマウズラがありました。

その先に、細長い実をぶら下げている木があります。トウコマツナギです。

上り坂が始まり右手にタラノキの大き木が、今まで見た中で最大かも知れません。

登山道に珊瑚のようなものがたくさん落ちています。クマノミズキの果柄です。

ひっそりと赤い小さな実があります。アクシバとツルアリドオシです。

ツルアリドオシは枝先に白色の花を2個対で咲かせます。この2個の対の花から1個の実ができます。そのため、2個の花の跡が残っています。

登山道が葉柄が長く全縁で波を打った葉で覆われています。アカガシです。アカガシのドングリもたくさん落ちていました。



アクシバ



ツルアリドオシ



アカガシ

休憩予定場所の手前からミヤマシキミ、シキミが多数ありそれぞれ実をつけているのがあります。また、ミヤマシキミとシキミが並んでいる場所があり葉を比較して観察できたので違いがはっきり判りました。



ミヤマシキミ



休憩後下り坂の倒木の先にミヤマハハソの幼木があります。アワブキ科で葉がコナラ（別名ハハソ）に似ているからこの名がつけられたようです。冬芽を観察するとアワブキの冬芽とそっくりです。

ノグルミの幼木、イヌエンジュの冬芽の観察、ヤブツバキ、クサギの葉をちぎって臭いを嗅いだりし、ヤダケの群生地を抜けるとそこに妙見寺が現れます。

今回、妙見寺を管理されている余田様のご厚意で本堂内部を見学させていただきました。妙見寺は元々は金剛寺という名で愛宕山の麓にあり41代続きましたが明治9年に廃寺に

なりました。ある時、大阪で財を成した余田佐橘右衛門が落葉山を眺めていたら、火事でもないのに煙が上がっているのを2度も見たそうです。これは何かのお告げかもしれないと思い、金剛寺に祀られていた「北辰妙見大菩薩尊像」をその地にお祀りしようと思い明治39年に再建されました。

妙見寺が建っている場所は以前落葉山城（別名有馬城）があった場所です。

因みに、ご本尊は室町幕府第3代将軍足利義満が寄進されたと伝えられています。



妙見寺見学後は参道を下り、有馬グランドホテルへの道を進みます。

その道中で、ゴンズイ、ウスノキ、スノキ、マツグミを観察し有馬温泉駅で解散しました。

途中雨がパラツキましたが本降りになることも無く、参加された皆様にも楽しんでいただけの観察会だったのではと思っています。

今回のコースで特徴的だったのは、ヤブムラサキ、キガンピは数多く見られたが、ムラサキシキブ、ガンピは1～2株しか見られなかったことです。

2班 荻野俊一